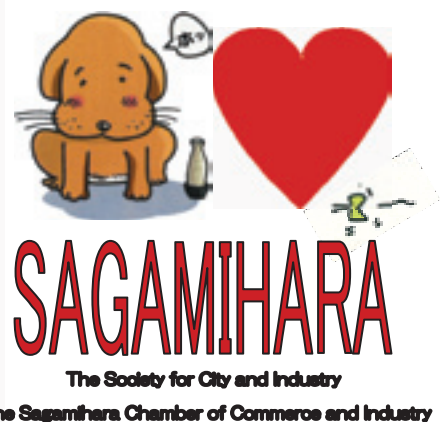


# 都市産業研究会 2014年度定例会報告書

## チェック結果集計・相模原の傾向報告

2015年5月22日



※この提言書は2014年4月に発行したものです。

都市産業研究会の「グリーン・コンパクト・シティ」を実現するため、相模原の15年後の将来を見据えたとき、現在ほどの程度実現性を感じるかをチェックリスト形式で作成したものです。

## CONTENTS

1. はじめに
2. チェックリスト集計結果
3. 都市産業研究会 平成26年度開催状況
4. まとめ

**TOSANKEN**   **SAGAMIHARA**





## 1. はじめに

平成26年4月に「都市産業研究会2014提言書・相模原の15年後チェックリスト～さがみはら・グリーン・コンパクトシティを目指して～」(以下2014年提言書)を発行し、毎月実施した定例会では、5つのテーマごとに提言内容にふさわしい相模原市役所や関連団体、多摩大学の方々に来ていただき活発な意見交換を実施いたしました。ご協力いただいた皆様に対して篤く感謝申し上げます。

さて、本会では産業・生活などの複合的視点から市のまちづくりや産業界への提言活動を行ってきましたが、これらには次のようなプロセスを経てきたことを、これからお読みいただくみなさまに改めてご案内いたします。

「自立都市を目指して平成20年提言」から本会の最新の2014年提言書はひとつのルール上にて行なわれました。

まず、1stステージが、2008年に行った相模原市(現全域)のSWOT分析による強み弱み、深めるべきもの撤退すべきものなどの検討でした。

2ndステージではこれらを元に産業人が考える近未来像を多角的な視点から検討し、その将来像を探り具体的なあるべき姿を示しました。これが、「さがみはらの15年後の君へ提言2010年」です。この提言書は未来の相模原を支える中学生を対象にし分かり易く、親しみ易い提言書にする試みも行ないました。

3rdステージは、この近未来像をより分かり易い言葉でくくり概念的な都市像を、現状の課題、市域全体を踏まえたネットワークの方向性、そしてそれらのあるべき方向性を概念的にモビリティ、地域活性、防災機能、高度情報化、コンパクトシティとして示しました。「私たちが考える相模原のまちづくり グリーン・コンパクトシティ都市産業研究会2012提言」で、当会の目指す相模原像を「グリーン・コンパクトシティ」というキーワードを示しました。

そして4thステージは、相模原の未来像を示した中で特に劇的に変わる広域交流機能を有効にするために相模原の知名度アップには何が必要かを考えました。知名度という切り口で会員の皆様と既存概念をリセットし、相模原の魅力や新たな投資やホスピタリティの重要性を認識し相模原市の生活・産業・文化・安全・モビリティと情報について再認識しました。

こうした、ステージを経て、5thステージでは、都市産業研究会の考えるグリーン・コンパクトシティを実現するための5つの視点で具体的に当会会員が考える望ましい姿を集大成として示し、これらが現時点でどの程度実現性をもって進められているかという、言い放しにならない提言を行ないました。チェックリスト形式として作成した2014年提言書は、発行後、市民、大学、行政他から少なからぬ反響を得たものと考えます。

平成26年6月5日、都市産業研究会の提言活動が評価され関東商工会議所連合会から「ベストアクション賞」をいただきました。

平成26年度活動として、当会の作成した2014年提言書を、定例会で参加者が議論した上でチェックリストの記入を行ないました。本書は、これらの活動結果をまとめたものであり、今後の相模原の発展のために役立つ参考資料として活用して頂けるよう、期待して発行いたしました。

## 2. チェックリスト集計結果

都市産業研究会では、本章のチェック結果とその傾向について今後、当会の考えるグリーンコンパクトシティへの道筋を考える上で参考になるデータとして2014年提言書のチェックリスト記入を当会会員並びに、ゲストを含む方々を対象に行いました。

本チェックリストの結果は、今後直面する相模原の地域社会の変化を踏まえて、まとめたものです。今後のまちづくりの一助となり活用されることを期待しています。

チェックリスト集計は、5つのテーマ（下表参照）ごとにチェックした項目毎のチェックリスト評価傾向表と、これらをカテゴリー毎にレーダーチャート、バーチャートで示しました。尚、チェック者（インスペクター）数が限定的であり参考程度にしかなら無いものの率直な意見としての評価参考にはなると考えます。

⇒各項目での傾向は、レーダーチャート上で凹んだ部分が改善なり今後方針転換を求める項目です。

⇒チェック項目の評価となる背景の意見についても掲載し、インスペクターの考える理由についても掲載いたしました。

### さがみはら・グリーン・コンパクトシティの5つの視点

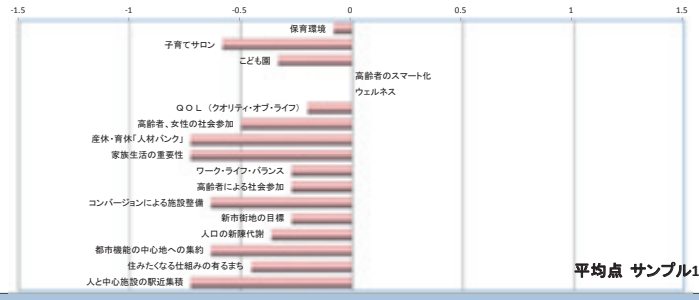
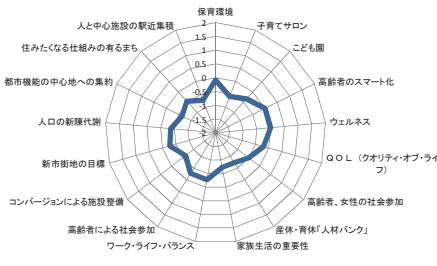
1	人口減少と高齢化社会への対応	少子高齢化対策の対応、コンパクトシティ化
2	経済と生活利便性の調和	誰もが生き生きと活動できる、地域を活性化する
3	広域交流拠点都市	生活利便だけでなく交流や流入を生む交通環境の方向性
4	環境サステナビリティ 歴史・文化・景観風土	環境負荷の少なく、緑等の自然資源を生活と歴史・文化、産業に融和したまちづくり
5	防災支援都市	平坦な市街地、揺れにくい地盤のメリットを活かし、山林は適正にメンテナンスされた、なりわいと生活が調和したまちづくり



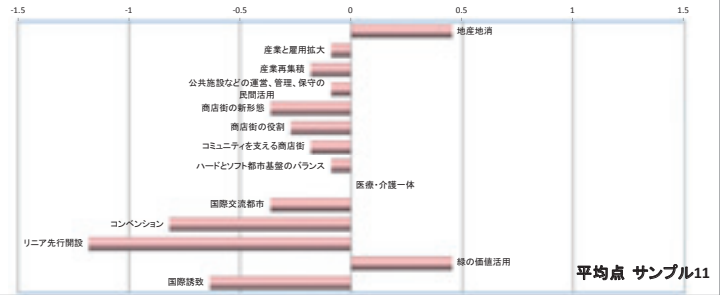
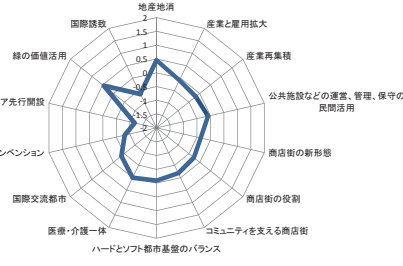


## 2. チェックリスト集計結果

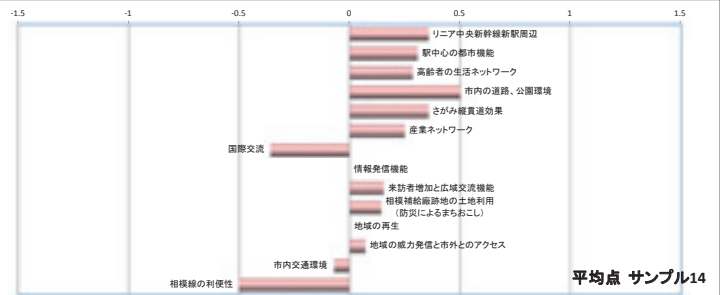
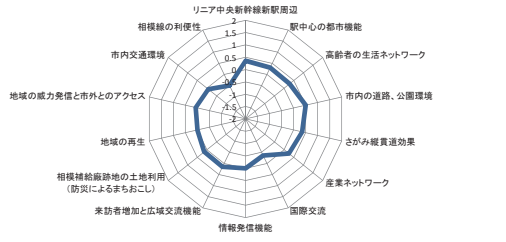
### テーマ1 少子高齢化社会



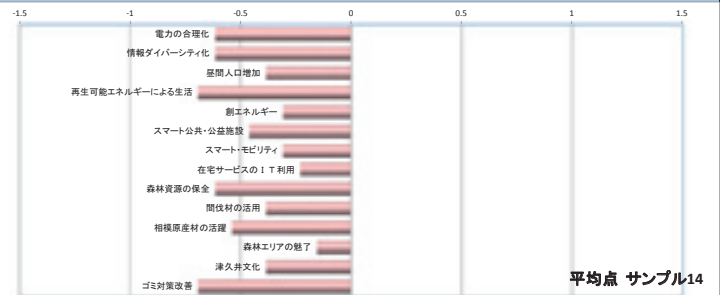
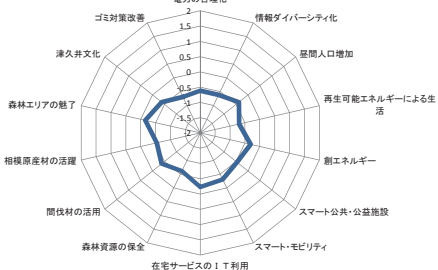
### テーマ2 経済・生活利便の調和(地域の維持と発展)



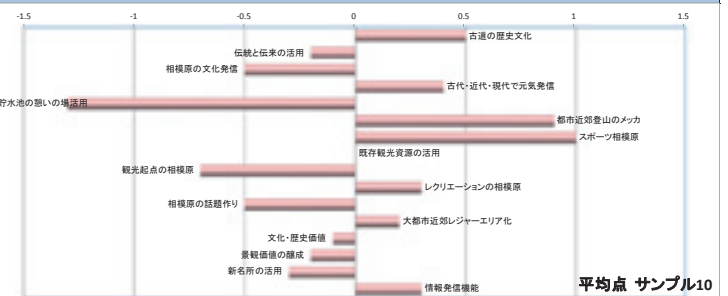
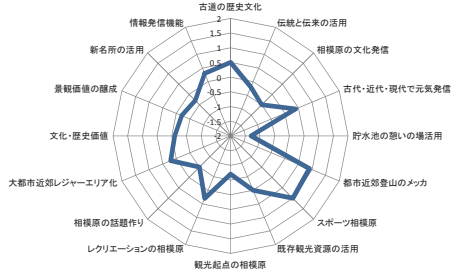
### テーマ3 広域交流拠点都市の行方



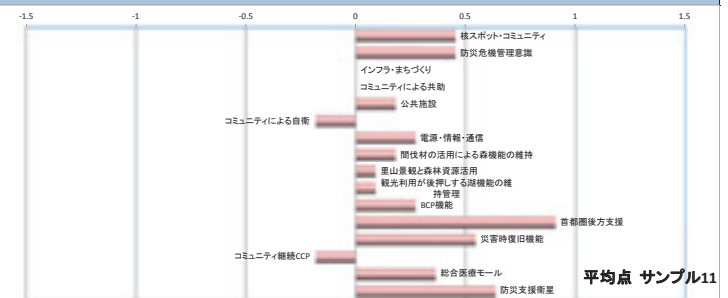
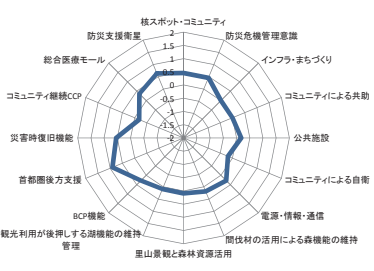
### テーマ4-1 環境サステナビリティ



### テーマ4-2 歴史・文化・景観風土



### テーマ5 防災支援都市



## 2 チェックリスト集計結果

テーマ1 「少子高齢化社会」							
課題	キーワード	-2	-1	0	1	2	コメント
少子化抑制策	保育環境	0	2	9	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育環境は今後確保されるだろうが、学童保育に関する不安が残る</li> <li>・比較的整備されているかと思うが、特筆する程ではない</li> <li>・待機児童まだまだ、いままが、積極的に対策を向かっています。特に保育士不足にも、国にも呼びかけています。ただ、地域の子育て環境は、厳しい</li> </ul>
	子育てサロン	0	9	1	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供を地域で見守り育てる意味から取組として期待感があるが、ボランティアベースでは継続性を感じない</li> <li>・地域居住者の違いが大きく、一概に言えない。近隣に居る地域の方一人親多数の地域がある</li> <li>・地域のコミュニケーションが悪くなっている中で、子育てを支える拠点地子育てサロンは進んでいない</li> <li>・地域のボランティアの育成、協力に対する意識、参加のしやすさ</li> <li>・区に1箇所では少ない</li> <li>・1歳の子供がいるが、母と子でよく利用。ママ友も増え、地域とのつながりができ定住化につながると思う</li> </ul>
	こども園	0	5	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9程度の認定こども園があるが、6歳の壁を壊す必要も視野に入れた取組が求められる</li> <li>・こども園確保の動きはあるのではないかと</li> <li>・子どもの発達にそった教育保育保障する総合施設の子ども園に保育園幼稚園が、向かっているが、財源が十分ではない</li> <li>・予算が少ない。保育園からこども園へは難しいのでは</li> <li>・保育士免許不要でシニアが子供と遊ぶ場所づくり、但し、医師はインターンが待機する</li> </ul>
長寿社会の対応	高齢者のスマート化	0	3	5	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15年後を考えるとそれなりに進んでいる</li> <li>・相模原市在住者は高齢になっても新しい時代への適用力はある方ではないだろうか</li> <li>・核家族化している中で、老夫婦あるいは、単身老人世帯が増え、地域支援活動が必要で</li> <li>・地域の高齢者が地域になじんでいない</li> <li>・老人の経験、知恵の活用。スマホで紙芝居(孤独型から発言型)</li> </ul>
	ウェルネス	1	1	6	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の公園、広場など相模原には健康増進の機会が多い</li> <li>・保険、医療、福祉の連携の動きはあると思う</li> <li>・健康寿命をのばす情報は増えているが、地域での健康づくりの運動は、まだ弱い</li> <li>・社会・企業で取組めるようにする</li> <li>・老人が多くなると、悪いイメージで公表している。(例:若者1人で老人〇人を背負う、補助負担が大きい)</li> </ul>
	QOL (クオリティ・オブ・ライフ)	0	2	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上人口が増える中、独居老人対策と地域住民、世帯の個案をどう解決するか知恵を絞る必要がある。</li> <li>・QOLをどの程度求めるかは地域というよりも国民の意識の問題ではないか</li> <li>・人生の終末を楽しく生活する環境は進んでいるが、ますます増える高齢者に追いついていない</li> </ul>
多様な人材の社会参加	高齢者、女性の社会参加	0	6	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアとしての社会参加は高齢者で見られるが、女性の社会参加はあまり感じない</li> <li>・高齢者、女性の参加が出来るような業種を育てることも必要ではないだろうか</li> <li>・労働人口が、減少しているのに積極的に期待されるが、ミスマッチしているときが多い</li> <li>・企業努力が必要で、企業のマインドを高める取組がない</li> </ul>
	産休・育休「人材バンク」	0	8	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師にはあるが、その他の職種はない</li> <li>・産休・育休し易さは業種にも因るが、復職し易い業種は少ないのではないかと</li> <li>・競争社会の中で社会で保障していく制度はできているが、現実には許されない厳しい社会です。更に制度の充実を図ってほしい</li> <li>・産休・育休後の再就業は大企業でなければ困難</li> </ul>
	家族生活の重要性	1	6	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育がポイント</li> <li>・全国的にみて、特に変わっているとは思われない</li> <li>・労働環境の改善は、競争社会の中で許されていく、家族中心生活は経済的には許されにくい</li> <li>・ますます悪化</li> </ul>
	ワーク・ライフ・バランス	0	3	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の社会認知度がポイント</li> <li>・一般的には、仕事の為に家庭がままならないという程では無いと思う</li> <li>・やはり、労働環境は、中小企業には、難しい</li> <li>・中小企業が多い相模原には困難</li> <li>・仕事のある人となない人のミスマッチがある</li> </ul>
	高齢者による社会参加	0	5	4	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で生きがいを感じる社会参加はコミュニティの存続のみ、新しい社会への適合はない</li> <li>・今後核家族化が更に進み、社会の連携を取り続けられるか注意が必要</li> <li>・地域社会へのコミュニケーション不足が、あるので十分でない</li> <li>・能力のある高齢者の再就業が出来る環境を</li> <li>・無から有を造り出す。照手神社活用し若者を結ぶ神社として市とともにPR</li> </ul>
コンパクトシティ化	コンバージョンによる施設整備	1	5	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設の転用ノウハウが市内で浸透していないためあまり進まない</li> <li>・世代交代により廃校になったところもあり、施設の転換更に必要と思われる</li> <li>・施設を建てる時に変換は考えられていましたが、縦割り行政があり、なかなか時代に合わせた変換はない</li> <li>・教育と福祉が縦割りで1つにならない</li> </ul>
	新市街地の目標	1	2	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標のゴールセッティングが明確でない</li> <li>・新市街地へ人が集まるかは普段の交通の便にかかっていると思うのでこの整備が必要</li> <li>・乱開発の状態が多く計画性には乏しい状態</li> </ul>
	人口の新陳代謝	0	4	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世帯に魅力的かどうかを視点とした対策が望まれる段階</li> <li>・地域により差が大きく、新陳代謝が著しいところとそうでないところがあると思う</li> <li>・若い世代の流入はあるが、出生数は減少して、いる結婚サービスからの支援が必要になっている</li> </ul>
	都市機能の中心地への集約	1	5	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相模原がコンパクトシティといわない理由は、橋本などの機能分散があるためか？</li> <li>・都市機能化の集約化の動きはあるが、未だ余地はあると思う</li> <li>・行政機関を中心地にあるが、他の生活機能環境は進んでいない</li> </ul>
	住みたくなる仕組みの有るまち	1	3	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力創出が、自然の多いエリアにあってもコンパクトなまちの利便が見えてこない</li> <li>・市のポテンシャルを生かし切れていないと思う</li> <li>・個々の地域の努力はあるが市全体での環境はまだまだである</li> </ul>
人と中心施設の駅近集積	1	7	2	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅周辺にマンションだけでは今後50年は集積は見込めない駅周辺集約都市地区計画が必要</li> <li>・南部と中央部で都市機能が集積されていると思う</li> <li>・中心施設特に日常生活を支援するスーパーはじめ商業施設の郊外化が進んでいる</li> <li>・三地区(橋本、相模原、相模大野)に分散</li> <li>・東京(山手線)も分散型であり、相模原にヘソを造る必要は無く、自然のなりゆき</li> </ul>	

## 2. チェックリスト集計結果

テーマ2 「経済と生活利便の調和」							
課題	キーワード	-2	-1	0	1	2	コメント
地域産業の活性化 地産地消	地産地消	0	1	4	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローケーションとして理想的と思われる。今後の可能性は大ではないか</li> <li>・地域活性の方向性を見誤ると地域産業は壊滅する</li> <li>・工業分野にしても、農業分野にしても、産業集積されており、また広大な人口集積地に隣接(隣接どころか含まれている状態)しており地産地消の可能性という意味では日本で最も恵まれた立地。地産地消は安全な食料の供給という意味では一番の方法。ゆえに可能性大ということではプラス1評価としたが、問題点も多く今後の政治家の努力次第の部分もある</li> <li>・市街化区域農地は、生産緑地を選択していても相続税評価は結局宅地並み課税で税制として農地を農地として維持させる方向ではない。農業者として近郊農地を守っていくのは困難。</li> <li>・農業をやりたいと思っている人が農地を保有しようにも保有できない農地行政(農業委員会等硬直化した組織の問題)</li> <li>・農業従事者が高齢化し若手の担い手が不足している</li> </ul>
	産業と雇用拡大	0	4	4	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状は物流施設が目立っているが、新規産業の集約、産業の発達の可能性があるとと思う。</li> <li>・縦貫道、小田急線に期待。さがみロボット特区の規制緩和が何のためかよくわからない</li> <li>・産業人口の高齢化が進んでいる、若者向けの産業がありません</li> <li>・新規産業と言ってもほとんどが高齢者福祉関係、新しい工場の進出はほとんど見られない、大規模な内陸工場は撤退し東北や海外に移転する傾向</li> <li>・新しくできる広大な施設はほとんどが物流施設、多少の雇用拡大には役に立つがパート労働者がほとんど、住宅地が近傍に存在していることがパート労働者の必要な物流施設にマッチして進出している傾向</li> <li>・いずれにしても経済波及効果の大きな産業から小さな産業にシフトしている</li> </ul>
	産業再集積	0	4	5	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小田急多摩線に期待。さがみ縦貫道はプラスマイナス効果あり</li> <li>・縦貫道沿いの産業集積が官主導であるが、相互補完に無い企業連携では構想に終わる</li> <li>・市街に転出した工場多数、その跡地には物流施設と大型ショッピングセンター、帳尻があっているようで帳尻が合っていない、ものを生産する事業所ではなくものを消費する事業所へのシフト、他の事業への波及効果も低く産業再集積とはいえない。</li> <li>・「相模ロボット特区」の効果も今のところ全く見えていない。</li> <li>・今後の方向性や可能性については専門家が政治家の方に聞かない。</li> </ul>
	公共施設などの運営、管理、保守の民間活用	0	5	2	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の改革、意識改革が必要では</li> <li>・市財政上必要(横浜、川崎並みに)</li> <li>・特定の管理運営会社が満ち足りて、市内の広い企業にいきわたる様子がない</li> <li>・ほとんど民営化が進んでいない</li> <li>・図書館や博物館などは近傍大学に運営を委託するべきだしそのほうが利点は高い</li> </ul>
生活利便の確保	商店街の新形態	1	3	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と密着した商店街として発達していけるのではないかと。商店街の新形態が必要だがその内容？</li> <li>・新たな手法を取り入れる実験エリアに相模原市はなりえる</li> <li>・ネットビジネスの試行すらない</li> <li>・商店街は相変わらずシャッター街に向かっている。心配される方向のもの</li> <li>・大手量販店が商品を売り、町の電気屋さんが修理を行うといったお互いの欠点を補いあうような提携関係も生まれつつあるがまだまだである。商店街の人はもう少し知恵を使って産業を生む必要がある</li> <li>・相模原市以外からも人が呼べるようなイベントを!</li> </ul>
	商店街の役割	0	5	4	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と密着した商店街として発達していけるのではないかと。既存商店街は活性化しないのでは</li> <li>・考え方は両面あるが、駅前商店街以外は無理、コンビにの無い商店街が生きられない</li> <li>・イベント都市さがみにはこの芽はまだある。いかに活用、活性するかがポイント</li> <li>・コンビニエンスストアは隆盛を迎えている。確かに便利である、その分既存の商店街の店舗の衰退を速めている</li> <li>・夜市など新規の商店街の姿があってもいいような気がするがまだ姿を現していない、硬直した行政組織の許可といった問題があるからでは</li> <li>・新規のイベントにしても行政のバックアップなしには行えない</li> </ul>
	コミュニティを支える商店街	0	5	3	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と密着した商店街として発達していけるのではないかと。既存商店街は活性化しないのでは</li> <li>・高齢者が元気な内は、販売者も高齢でも可能と考える。但し、15年先まで</li> <li>・世襲による商店街維持は不可能。新しい店舗出展を許容する袖の広さが重要</li> <li>・商店街の中でのコミュニケーションすらとれていない、一部の商店街はコミュニケーション不足のため消滅の危機</li> <li>・新しい店舗は、商店街としての活動もしない、商店街組合に入らない</li> <li>・商店街をまとめるリーダーが高齢化または不在になる傾向</li> </ul>
	ハードとソフト都市基盤のバランス	0	3	6	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小田急多摩線に期待</li> <li>・市街地再開発がまだまだ都市再生の切り札と考える点が将来性を感じない</li> <li>・もともとリニア中央新幹線の神奈川新駅ができたり、小田急多摩線が延伸したり圏央道が開通したり、交通インフラは順調に出来上がっていく、エネルギーや交通システムはよい方向に向かう傾向</li> <li>・病院については、大学病院では市民病院の役割は本来の意味で果たせない、今後移築される協同病院のほうで市民病院の代替になりえるのでは</li> </ul>
	医療・介護一体	0	3	5	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街に包括すると利便性が増す</li> <li>・特に動きを感じない。整体などのメンテナンス店が多く生業としてウェルネスに繋がるか</li> <li>・医療と介護は分離したままで一体化はしていない</li> <li>・ただし医療も介護もインフラとしてはかなり整備されてきており、相模原市で医療難民、介護難民が発生する状態でもない</li> </ul>
来訪人口を増やす仕組み	国際交流都市	1	3	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政、経済の両面からの動きが必要</li> <li>・外国人(中国人、韓国人も含め)増えることは確実</li> <li>・最低でも米軍関連者が多いのに、英語表記の案内が少ない。公共空間だけでも進めるべき</li> <li>・相模原補給廠があったり、座間ベースがあったり、宇宙科学研究所があったりする割には全く国際的に認知されていない相模原市。</li> <li>・国際交流都市としての認知が進むのもリニア開通後の話か!</li> </ul>
	コンベンション	4	2	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政、経済の両面からの動きが必要</li> <li>・ノウハウ無く進めるのではなく、民間のホテル事業にセットとして動めるのが理想</li> <li>・まったく動きなし、カジノの方が可能性ありかも。法律も後押しをしている</li> <li>・世の中コンベンションだらけ、コンベンションを作っても横浜や東京に勝てる気がしない、千葉にも負けるでしょ(成田が近いわけですから)、コンベンションは個性がない</li> <li>・コンベンションはあきらめたらどうでしょうか</li> </ul>
	リニア先行開設	4	5	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政、経済の両面からの動きが必要</li> <li>・リニアに期待したい</li> <li>・特に市に進めるつもりは無い</li> <li>・この時点に至っても先行開業の話がないということは、無理ということつまり評価マイナス2</li> </ul>
	緑の価値活用	0	1	4	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光等期待したい、しかし出来るか?</li> <li>・グリーン・コンパウンドは、市街地に隣り合う緑地が市松緑地にある珍しい都市をみせせ</li> <li>・津久井は富士山に行くとおりに道、温泉に、川、観光資源としてのポテンシャル高し、生かして切れていないのは行政の努力不足</li> <li>・宮ヶ瀬湖、津久井湖、相模湖の3湖、相模川、中津川、道志川の3川、丹沢、神馬、高尾と山もありこんなにポテンシャルの高い市町村日本中探してもそんなにありません</li> </ul>
国際誘致	0	8	2	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相模原駅、橋本駅前の新市街地に期待大きい</li> <li>・職業訓練大学校(職業訓練の教師育成の機能もあった)は留学生も多かった、これがなくなることの重大さが理解できていない</li> <li>・ジャクサがあったり、座間ベースがあったり、相模補給廠があったりしても全く国際的に認知されていない</li> <li>・シュルベルジエといった海外の有名企業があってもあまり大事にしていけないので撤退のうわさもあり</li> <li>・福祉や教育に力を入れるあまり企業誘致や国際誘致が後回しになっている傾向。ちゃんとした国際誘致がされていないしその努力も垣間見られない</li> </ul>	

## 2 チェックリスト集計結果

テーマ3 「広域交流拠点都市の行方」							
課題	キーワード	-2	-1	0	1	2	コメント
住 (くらし)	リニア中央新幹線新駅周辺	0	2	4	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>まだ始まってないので何とも言えない</li> <li>JR主導のため、まだまだ具体化しないが、楽しみである</li> <li>相模原としてのセールスポイントがないと単なる通過駅となる</li> <li>相原高校跡地という広いエリアを持ったため期待できる</li> <li>昔からのイメージとあまり変わってきていない。今後どうなるのかわからない</li> <li>北口との一体感がある街づくりが必要。回遊性に疑問を感じる</li> <li>地域回遊性の具体性がなく今後の課題</li> <li>JR東日本・東海の協力の下、市行政の努力目標であり、商業ゾーンの回遊性とキス・パーク&amp;ライド整備、駅前広場の空間作りを期待する</li> <li>写真裏を現実に単なる通過点で終わる気配も…</li> </ul>
	駅中心の都市機能	0	0	5	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>あまり興味なし</li> <li>他都市から比較すると人は多い</li> <li>相原高校跡地と補給廠の開発と併せて新都心となる可能性あり</li> <li>現在の相模原駅南口のように、マンション林立が駅中心の都市機能を果たすかどうか</li> <li>若い世代に選ばれる魅力創出として、交流や情報発信性において拡散しすぎている</li> <li>交通結節機能を中心に、駅周辺の機能や魅力が融合することで、多くの来外者や市民が集い、ゆとり・潤い・憩いが図れる空間を期待する</li> </ul>
	高齢者の生活ネットワーク	0	2	3	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者に比べ、高齢者のネットワーク化は進んでいる</li> <li>地域(自治会)が中心になり、地域で活性化してほしい</li> <li>行政ではなく、民間によって環境整備が行われる可能性</li> <li>高齢者が便利に暮らせるような交通があった方が良いかと思う</li> <li>高齢者までスマホが行き渡り、ICTによるネットワーク構築の基盤はある</li> <li>適度なローカル性が残り、薬漬け医療を回避できれば参考都市となる可能性はある</li> <li>日常生活に必要なまち機能を集約し、高齢者や子育て世帯など、多様な世代が暮らしやすい生活空間を創出するまちづくりは継続努力目標</li> </ul>
	市内の道路、公園環境	0	0	3	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>まあまあ良いと思う</li> <li>公共交通網が不足している</li> <li>圏央道が開通し、ICからの導線が大事である</li> <li>公園の数も増えたほうが良いかも</li> <li>無防備な歩行者と自転車による交通事故が顕在化し始めている</li> <li>物流拠点増加により大型車両が生活道路に入り込み、日々の生活に危険を感じる</li> <li>駅前の交通結節機能と公園環境は整備されるが、市内周辺の道路、公園環境は後回し</li> </ul>
働 (なりわい)	さがみ縦貫道効果	0	3	1	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>まず、市内の交通混雑が若干緩和された</li> <li>市内の混雑が少なくなっている</li> <li>通過道路</li> <li>単純に利便性が向上</li> <li>これを活用して、産業用地や工業団地の整備を進める</li> <li>まだまだ不便なところが多い</li> <li>物流拠点は猛烈に増加しているが、交通状況は逆に悪化している</li> <li>出来たのは物流施設だけ。住環境・経済環境は変わらず。通過するだけの街となる</li> <li>大型物流倉庫のみが林立し始め、人のいない倉庫の街が始動し始めている</li> <li>東京を経由しないで、周辺県の交通がスムーズになり、産業連携の迅速化・活発化が図れる</li> </ul>
	産業ネットワーク	0	2	2	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議所・SICによるネットワークは日本一</li> <li>物流拠点が突出して発達</li> <li>技術開発業、製造業は集積せず、旧態依然のまま。ネットワークも今一つ</li> <li>すでに終わった業務核都市構想から離れられず、産業基盤を支える企業が移転し続ける</li> <li>製造業と先端研究所は地場産業を地産地消で活用し、市や商工会議所を通じた全国へのビジネスアプローチが頻繁に行われる</li> </ul>
	国際交流	0	5	4	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポテンシャルは活かされていないが、良い感じ</li> <li>横浜にリードされたまま</li> <li>JAXA、ロボット特区など世界に売り出せるか</li> <li>産業センター等があるところの可能性はある</li> <li>東京・横浜に近すぎ。街の役割として本当に必要なのか?</li> <li>行政は国際交流で目玉とするのはコンベンションセンターだけ。文化が抜けている</li> <li>公共施設への外国語表示が進まず、来訪者を受け入れるつもりも無い</li> <li>市はユニバーサルデザインに配慮した交通利便性を整備すると言っているが、目玉は何か?</li> </ul>
	情報発信機能	0	3	5	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>あまり興味なし</li> <li>セールスの目玉がない、方向性がない</li> <li>施設等ハードを売るのではなく、文化、自然、町並み等ソフトを発信する必要がある</li> <li>展示や会議などの施設検討段階であり、アフターコンベンションも含めた計画が求められる</li> <li>リニアやロボット関連の最先端の技術や市内周辺地域の持つ様々な魅力を発信拠点となる</li> </ul>
	来訪者増加と広域交流機能	0	1	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>あまり興味なし</li> <li>都心から一番近い余暇活動拠点として可能性</li> <li>リニア、小田急多摩線のインフラ確立は来訪者増加に繋がりますが、ホテルファが必要</li> <li>インフラ整備はほぼ確実となったりリニアへの準備が今後期待される</li> <li>多くのリニア来街者に対して、リニアやロボット関連の最先端の技術や市内周辺地域の持つ様々な魅力で広域交流をする</li> </ul>
憩 (いきがい)	相模補給廠跡地の土地利用(防災によるまちおこし)	1	1	5	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>やっと返還が実施されたのでこれから楽しみ</li> <li>今後、国からの返還に注目</li> <li>セールスの目玉となり得る。有効的に活用すべき</li> <li>小田急線の入線</li> <li>方向性が見えてない</li> <li>フェスタ開催、防災訓練実施で知名度アップは感じるが、今後の具体的計画を早期に開示すべき</li> <li>さまざまな行事で相模原の位置は認識されつつある(九都県市合同防災訓練の実施)</li> <li>東京・関東東海地域の防災拠点として、防災機器、必需品備蓄、輸送機・車両の常設の中核</li> </ul>
	地域の再生	0	1	8	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>伸びる地域と沈む地域に分かれつつ循環する</li> <li>昔からの町並みが大事だと思う</li> <li>政令指定都市の人口を活かされていない</li> <li>行政は条件整備が仕事であって、それ以上の評価を得るためには、民間のアイデアと工夫をいかに引き出すか(エリアの魅力づくり)を検討すべきと思う</li> <li>国が推進する地元商店街の活性化がポイント。自然環境も売り物となる</li> <li>地域の商業の転機であり、再生には商業以外の知恵を積極的に取り入れる必要がある</li> <li>災害時における拠点性と防災性を備えた街づくりと駅南口の商業・業務を回遊一体化する</li> </ul>
	地域の魅力発信と市外とのアクセス	0	2	5	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>あまり興味なし</li> <li>小田急多摩線の延伸が鍵となる</li> <li>今あるものをアピールしていくべき</li> <li>市外アクセスは改善見込みがあるが、市内アクセスは過去のまま。包括的解決策が必要</li> <li>地域交通は広域交通とセットでなければ意味が無い。合理的な解決も必要</li> <li>小田急多摩線延伸で見込まれる北口駅は、広域交流拠点の顔で、文化行政業務を集中化する</li> </ul>
モビリティ	市内交通環境	0	2	6	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティバス、乗合タクシーが便利。木炭バスを走らせた</li> <li>3つの拠点を中心に公共交通を充実させる</li> <li>高齢化や道路の狭さへの対応はまだ</li> <li>市内交通はバスに依存されているため、ハブバスステーション設置による利便性向上が必要</li> <li>次世代エネルギー活用によるモビリティをいち早く実現できるかで市の方向性は決まる</li> <li>コンパクトシティが遅れた地域や地域魅力創出に失敗した地域交通はさらに悪くなる</li> </ul>
	相模線の利便性	0	4	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>まだこれから</li> <li>複線化には時間がかかる</li> <li>複線化が望まれる</li> <li>八高線にならってやっつけ面白と思う</li> <li>実現には、コスト、利用人口などの課題が多い</li> <li>複線化の要望は30年を経過、市民はあきらめムードが広がる。沿線は忘れられた存在となる</li> <li>相模線の複線化は一向に進展しないが、圏央道の開通で交通量はある程度補充できる</li> </ul>



## 2. チェックリスト集計結果

テーマ4-1 「環境サステナビリティ」							
課題	キーワード	-2	-1	0	1	2	コメント
スマートシティ化	電力の合理化	1	4	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政の実行力はなく、市民個人の電力合理化への認識向上を待つしかない。</li> <li>家庭部門の電力見える化への取組は地温協などに期待。事業所は特に企業へのインセンティブの付与(表彰)ではない利益や税控除に寄与する)で推進。</li> <li>相模原市の場合はミニ水力発電の利用がカギだと思ふ。</li> <li>HEMSの普及に期待。市民にとっての具体的なメリットが見えない。</li> <li>電力の自由化が競争を生み、省電力を進めると思われるがほとんど進んでいない。</li> <li>現状の供給状況から必要にせまられ企業中心にある程度の合理化は進む。</li> </ul>
	情報ダイバーシティ化	2	4	3	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政の実行力はなく、市民個人の電力合理化への認識向上を待つしかない。他行政と比較すると、相模原市の取組姿勢は低いと言わざるを得ない。</li> <li>一部で民間事業者のスマートタウンは示されているが、官民一体での政策ロードマップが無く、スマートシティ(賢くエネルギー活用)への道程、速し。</li> <li>情報は「ロコミ」が一番だ!</li> <li>福岡市などで実施中の結果次第では全国的に波及すると思われる。</li> <li>情報の共有化がほとんど進んでいない。</li> </ul>
	昼間人口増加	1	5	3	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>物流施設が増えるだけでは、本社機能を置く企業と正規従業員の増加は見込めない。</li> <li>リニア、相模原総合補給廠一部(17ha)返還など可能性と期待感が高い。将来人口減の中、一部ではなく相模原市内全体のバランスが重要。</li> <li>首都圏でもっとも可能性を秘めている街。</li> <li>東京の単なるベッドタウンとしての方向性は相変わらず。</li> <li>リニア、圏央道などの影響をうまく利用しての昼間人口増のビジョンがない。</li> </ul>
インフラのスマート化	再生可能エネルギーによる生活	2	5	2	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>電力供給事業者の再生エネ転換は難しい。個人需要者の取組姿勢に依存される。</li> <li>前政権が行った、度を越した自然再生(太陽光発電)政策が行き詰っただけ。地域特性にあった緩やかなロードマップによる転換が重要。</li> <li>素材不足(水、太陽光?)、自給自足を考えると難点が多い。</li> <li>太陽光の設置はほとんど進んでいない。</li> <li>電力供給とその価格を考えた場合、再生可能エネルギーの増加は難しい。</li> </ul>
	創エネルギー	1	4	4	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>震災後の電源喪失への取組みのブームは去ったのか。機運は感じるがいま一歩。</li> <li>公共施設へのPV設置は、一応あるが積極的な創エネではない。自治体は儲けるくらい税負担軽減への取組を積極的にこなして評価される。</li> <li>エネルギーを独自に発電しようという意味では神奈川の水のほとんどを有する市として非常に恵まれているにもかかわらず進んでいない。</li> </ul>
	スマート公共・公益施設	1	3	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>本誌をたたき雰囲気だけの盛り上げだけでは、さびしい。</li> <li>今後のICTに期待。</li> <li>設備投資の財源確保が必要。</li> <li>公共機関はほとんどICTが導入されていない。</li> <li>現状の生活の中では、だまっいても進んでいく。その先に進むことを期待。</li> </ul>
	スマート・モビリティ	0	4	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状の市内インフラを支えるバスの運用改善を進めるべき。</li> <li>JR東海、小田急電鉄の路線に乗るだけでなく、市内のバス路線に水素燃料電池+ICTバスを運行するなど先進的な取組が重要。</li> <li>国際的な課題。メーカーの技術革新に期待。</li> <li>電車で近いぐらいのバス利用がエネルギーの省エネ化に役立つと思うが進んでいない。</li> </ul>
	在宅サービスのIT活用	0	3	6	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>基盤はあるが、行政を含めた運用サイドの努力が必要。</li> <li>誰がやるかがおそらく一番の課題。福祉団体や医師会だけでもできず、地域福祉施設や中核病院だけでもできない。福祉や医療ICT総会議などで推進を期待。</li> <li>相模原オラジナル(地域特性を活かした)ICTの普及に期待。</li> <li>今後は民間で有料で進んでいくと思う。</li> <li>行政主導で進むのか?</li> </ul>
森林資源の活用と保全	森林資源の保全	2	3	5	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部の民間企業とNPOが前向きな姿勢を表明するが、国・県における明確な保全施策が必要。</li> <li>森林整備は、税金などで原木利用としてではなく山林災害防止のために行われている。今後、国力が低下することを踏まえ産業として維持が課題。</li> <li>森林業の採算が取れる流通が確立できれば必然的に保全は出来る。</li> <li>津久井の森林はある程度保全されている。</li> <li>森林面積に対してマンパワーと、行政の対策が必要。</li> </ul>
	間伐材の活用	1	3	5	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>集成材が主な活躍の場。もっと運用ステージはある。(木製ガードレール、電柱等)</li> <li>現状では、建築材としてのメリットは無い。副産物としての加工品に期待はあるが道遠し。津久井の山でバイオマス発電は現実的ではない。</li> <li>バイオマスは事業として非現実的。</li> <li>間伐材は加工品としての利用を進めるべき。</li> <li>活用法の創出がうまくできれば。</li> </ul>
	相模原産材の活躍	1	5	3	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>相模原(津久井)産材をアピールする建築業者も増加している状況は好ましいが、もう一歩。</li> <li>相模原産の木材は、地域の特有の課題(山主にも課題がある)。相模原カーボンオフセット認証によりCO2排出権売買を市は検討する。</li> <li>津久井の町には木造家屋がよく似合う。</li> <li>シティーセールスの手法に期待。有効に進めることで資源、環境に良い影響を与えられる。</li> <li>事業者とのカーボンオフセット契約によって森林整備資金などに出来ないか。</li> </ul>
	森林エリアの魅了	0	3	6	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>NPOによる古道道標の設置、登山道の保全等の環境改善行動は評価できる。</li> <li>生物多様性の宝庫である一方、里山である相模原の山林は鳥獣の個体数管理や崖地、砂防などを複合的に管理が必要であり、地域に継続的に住む重要性を認識した相模原を検討すべき。</li> <li>わりと良い線に行っている。</li> <li>春の新緑、秋の紅葉、東京近郊では恵まれた立地にもかかわらずアピール不足。</li> </ul>
	津久井文化	1	4	4	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレジャーフォレスト・小原本陣、やまなみ温泉・系術の家・甲州古道等魅力は満載。津久井産材・農業とのコラボでもっとアピールできる。</li> <li>文化＝人であり、そこに住み続けられる工夫が不可欠。情報を含めたモビリティはこの重要な要素である。</li> <li>津久井は観光資源は豊富ですが、アピール不足。</li> </ul>
	ゴミ対策改善	1	6	3	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>NPOの環境保全の姿勢は素晴らしい。しかし行政のゴミ対策に積極性が感じられない。</li> <li>廃屋や、荒廃した草地なども不法投棄、ごみ対策の重要な点である。地域人口・住民が減る中こうしたまちの荒廃を防ぐことが必要。</li> <li>最近見かけない。</li> <li>ゴミと資源はほとんど同じ。資源をゴミ化していないか。</li> </ul>



## 2. チェックリスト集計結果

テーマ4-2 「歴史・文化・景観風土」							
課題	キーワード	-2	-1	0	1	2	コメント
古い景観と新しい景観の調和	古道の歴史文化	0	0	5	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光資源としての潜在能力はある</li> <li>今度行ってみようと思った</li> <li>古道整備をしている事実すらアピールされていない</li> <li>ウォーキング人口の増加を取り込めるのか</li> <li>東海道自然歩道もポピュラーなので同類で扱うと良い</li> <li>単体としての資源化は無理。相模湖周遊道路との相乗効果を狙う</li> </ul>
	伝統と伝来の活用	1	2	5	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>もう一歩進んだ保護整備施策が必要</li> <li>相模原に伝統文化があるのかすらわからない</li> <li>良いものがたくさんあるが活かされていない</li> <li>十分な紹介や保護、周辺設備が無い。維持管理を持続性をもって対応する仕組みづくりが必要</li> </ul>
	相模原の文化発信	1	5	2	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベースはあるが、包括的発信方法が見えない</li> <li>まだまだこれから</li> <li>文化発信をしようとする努力をまったくしていない</li> <li>結構良い感じだと思う</li> <li>メニューはそろっているが、配信方法や連携が無い</li> </ul>
	古代・近代・現代で元気発信	0	1	4	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元住民の力に依存、行政の企画力が感じられない</li> <li>元気づけてくたびれてもいる</li> <li>人口減少と高齢化で継承者の今後対策が見えない</li> <li>祭(フェスティバル)等の行事と関連付けており、より一層の活性化が可能では</li> <li>地域の活性化のみに特化すべき</li> </ul>
	貯水池の憩いの場活用	4	5	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>渡り鳥の憩いの場ではない</li> <li>ほととスポット</li> <li>残念ながら中途半端</li> <li>水面に映る美しい景観を活かせていない</li> </ul>
	都市近郊登山のメッカ	0	0	1	9	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光資源としての魅力はある</li> <li>登山人口の増加、交通手段の整備が必要</li> <li>温泉もあり、もっとアピールすればいい、ミニ道の駅等を作れば</li> <li>高尾山に比べ、程よい密度で登山が楽しめる</li> <li>ミニ登山は、高尾山などでブーム化。里山の崩壊で蛙などが広範に分散し問題化</li> </ul>
相模原市内 新レクリエーション・観光資源	スポーツ相模原	0	0	2	6	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ振興の機運は高まった</li> <li>環境を活かせばもっとスポーツの街として認知される</li> <li>あまり興味は無いがホームタウンチームはガンバっている</li> <li>市(行政)のバックアップが今一歩</li> <li>企業スポーツはさかんになっているが、市民のスポーツ活動は？</li> <li>ホームチーム制により相模原のスポーツ振興・観戦が大きな一歩を歩み始めた</li> </ul>
	既存観光資源の活用	0	1	8	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>盛り上がり感がほしい、相模原市フラッグとか立つといいね</li> <li>大都市近くにあるのに...</li> <li>小さな資源が数多くあり、コミュニティも活きている</li> <li>全市を挙げた魅力作りにつける</li> </ul>
	観光起点の相模原	3	2	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>リニア新幹線と小田急延伸、縦貫道全通は好材料だが、市内交通インフラ改善への動きが無い</li> <li>リニアや小田急多摩線の話題はプラスだが、市内の交通について検討不足</li> <li>まあ良いほうだと思う</li> <li>目玉となるものは？観光資源のPRと整備の主体は？</li> </ul>
	レクリエーションの相模原	0	1	6	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>基盤はあるが、レクリエーション・観光への行政による情報発信がない</li> <li>アクセスの改善</li> <li>人の好みは多様なので、それに合う多様なスポットが数多くある</li> <li>観光資源に対する法的緩和やモビリティ強化、宿泊機能誘導を戦略的にやっていない</li> </ul>
	相模原の話題作り	0	5	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民まかせ、行政の積極関与を望む</li> <li>誰が話題にするのかによるが...</li> <li>企業頼みになってないか</li> <li>定住者政策ばかりに力点が置かれ来街者や来訪者への戦略性がない。すべてが地域まかせ</li> </ul>
	大都市近郊レジャーエリア化	0	1	6	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力ある施設はあるが、情報発信に二の足を踏んでいる</li> <li>大型ホームセンターがレジャーの基点になっている</li> <li>市内外では、相模原の安近短レジャースポットは知れ渡っている。後押しする投資が重要</li> </ul>
地域文化・歴史の活用	文化・歴史価値	0	2	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>明確な方向性が提示されるべき</li> <li>ポテンシャルをのばせることが出来るか</li> <li>十分な資源はあるが、人によってその価値は異なる</li> <li>歴史価値や、最先端科学の価値の醸成に特質した対応を感じない</li> <li>勝坂遺跡など文化価値を持っている</li> </ul>
	景観価値の醸成	1	2	5	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市景観も大切</li> <li>人口の減少を利用・活用すると良くなるだろう</li> <li>「相模原」の景観でしかない</li> </ul>
	新名所の活用	0	5	2	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>優れた観光施設は充実しているが戦略的施策がない</li> <li>新しいものにはあまり期待していない</li> <li>河原野ぎく</li> <li>検討中。出るようだが、具体的に見えない</li> </ul>
	情報発信機能	0	2	4	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域特性の発信により知名度は向上できる</li> <li>シティセールス推進課に期待</li> <li>市のシティセールス推進活動、都座研、その他市民の活動</li> <li>多面的な産業基盤が整っているため、新産業は続々と集まる</li> <li>物流拠点を中心に増え始め、工業系は市外へ転出している為かなりマイナスイメージ</li> </ul>

## 2. チェックリスト集計結果

テーマ5 「防災支援都市」							
課題	キーワード	-2	-1	0	1	2	コメント
防災都市	核スポット・コミュニティ	0	1	4	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動等活発化し(一部)、コアスポットも出来つつある</li> <li>・場所を決めて試験的に試してみるのが良いのではないだろうか</li> <li>・地方の財政事情や産業基盤の裏打ちを確実にし、地域の核を目指すかに期待</li> <li>・ただし地域差がある</li> <li>・人間関係が基本</li> <li>・コアスポットを中心に公共施設は配置され防災対応も開かれている</li> </ul>
	防災危機管理意識	0	2	2	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バックアップ都市としてのセールスは？防災意識は高い</li> <li>・昨今の情勢もあることから、市民に防災危機管理意識はあるのではないだろうか</li> <li>・防災的優位性をセンターセールスとしている割には効果が出ていない</li> <li>・一部の個人・企業は認知している</li> <li>・日常的な啓蒙活動と国全体の意識の定着</li> <li>・バックアップ都市としてセールスするにはそれなりの設備投資が必要。まずは自分の身を固めること</li> <li>・比較的高いと思う</li> </ul>
	インフラ・まちづくり	1	1	6	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフラの整備されつつある地域とそうではない地域のギャップ</li> <li>・他と比較しても道路やインフラは比較的整備されている方だと思う</li> <li>・2項道路は、対応の姿が見えない。都内の区では条例化の動きがある</li> <li>・比較的良好い、地域差がある</li> </ul>
	コミュニティによる共助	0	3	5	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会はどうか？意識に程度差</li> <li>・サラリーマンの住む住宅街と商店街とでは住民の意識が異なるので合った方法を模索する</li> <li>・縮退する地域への手立てが今後必要</li> <li>・地域差を感じるが、共助が出来る</li> <li>・自治会加入率の低下を危惧している</li> </ul>
有事対策	公共施設	1	0	6	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役所の機能から考えて、新庁舎が高層である必要があるだろうか</li> <li>・まあまあ出来ている</li> </ul>
	コミュニティによる自衛	0	3	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治安は比較的良い方だと思うが、積極的な自衛となっていないと思う</li> <li>・比較的良好い、地域差あり</li> <li>・地域差あり</li> <li>・地区防災の策定に着手した</li> </ul>
	電源・情報・通信	0	1	6	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業、官庁等、意識は高く</li> <li>・今のところこの面で市に特色があるとは思えない</li> <li>・小学校等には小規模なPVが設置されはじめた。一部の自治会館にも防災PV+蓄電設備</li> <li>・情報の発信手段・設備に不安がある</li> <li>・JAXAも活用していけると思う</li> </ul>
山間部の治山、治水	間伐材の活用による森機能の維持	0	1	7	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な間伐を進めて行くと良いと思う</li> <li>・特に目立った動きは無い。ボランティアやNPOに頼る</li> <li>・始まっているが不十分</li> <li>・良いイメージの街となるよう期待したい</li> </ul>
	里山景観と森林資源活用	0	3	4	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京に隣接するメリットをもっと活かせるのではないかとと思う</li> <li>・景観を重視した森林整備はこれから</li> </ul>
	観光利用が後押しする湖機能の維持管理	0	2	6	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる道路や駐車場の整備と情報発信が必要と思われる</li> <li>・湖面整備は防災面のみで、観光へ繋がる動きはあまり無い</li> <li>・どちらかというとホッタルカレ</li> </ul>
バックアップ都市機能	BCP機能	1	0	5	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理の認識は充実。全体として機能できるか</li> <li>・モニタリング的な庁舎を作っている予算は無いと思う実際に有効な対策ができるようにすべき</li> <li>・無線等の対応は進んでいる。住民周知と管理維持や防災まち歩きなどの実施に期待</li> <li>・市の対策を聞く限りOKかな・・・</li> <li>・危機管理局内は発展途上であり、ますますの充実を期待</li> </ul>
	首都圏後方支援	0	0	4	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポテンシャルは充分に有る。機能を整備できるか</li> <li>・補給拠地をはじめ相模原市内の広い空地は首都圏後方支援に最適なので積極的に活用したい</li> <li>・連携への取り組みは始まったばかり。有事のみではなく、平時の動きが不足</li> <li>・行政の意識は？</li> </ul>
	災害時復旧機能	0	1	4	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑区、中区、南区で被災内容はそれぞれ異なるので地域に則した復旧対策を考えるべき</li> <li>・計画の有無や方向性について？</li> <li>・米軍の機能維持のための活動が功を奏するか？</li> <li>・市は対応力があると感じた</li> </ul>
	コミュニティ継続CCP	0	3	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティがそれぞれ成長していけるか</li> <li>・災害救助は市単位とは限らないので非常通信設備は周辺の街も含めて考えたい</li> <li>・自治会レベルは差が大きすぎる。CCPはあるところも有るが、無いに等しい</li> <li>・モバイルに期待</li> <li>・自治会の温度差を感じる</li> </ul>
	総合医療モール	0	2	4	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポテンシャルは有る。ネットワーク化も可能(必要)</li> <li>・北里大学の意見を聞いてみるのも良いのではないだろうか</li> <li>・モール化はみられない</li> <li>・他市と比較すると医療機関が多く期待が持てる</li> <li>・夢のような話</li> </ul>
	防災支援衛星	0	0	6	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相模原市の特色を活かしJAXAとも連携して是非実現させたい</li> <li>・今後の全域防災力による維持</li> <li>・JAXAとの連携は防災訓練として実施済み</li> <li>・JAXA連携</li> <li>・ぜひ実現させたい</li> </ul>

### 3. 都市産業研究会 平成26年度開催状況



平成26年度の都市産業研究会の活動は以下の通りです。  
定例会などでは様々な方々に参加頂き、チェックリストのインスペクターとして記入と意見をいただきました。

相模原商工会議所 都市産業研究会

第19回 通常総会

日 時 平成26年4月25日(金)午後5時00分～5時30分

場 所 相模原市立産業会館 国際商談室(4階)

出席者 19名

講演会(17:40～18:25) 国際商談室

講演テーマ 「スポーツ振興と相模原のまちづくり」講師:小野沢敦夫 教育局長

懇親会(18:30～19:30) 懇談室 主なゲスト:相模原市長 他合計26名

5月度定例会「平成26年度 活動スケジュールについて」

日 時 平成26年5月14日(水) 午後7時00分から午後7時50分

場 所 商工会館 新館4階 役員会議室

出席者 合計11名



6月度定例会 チェックリストテーマ4-2「歴史・文化・景観風土」について

日 時 平成26年6月11日(水) 午後7時00分から午後8時30分

場 所 商工会館 新館4階 役員会議室

出席者 合計15名

行政招聘者:相模原市街づくり支援課 課長 金子公一 氏、主査 上田祐介 氏

7月度定例会 チェックリストテーマ1「少子高齢化社会」について

日 時 平成26年7月9日(水) 午後7時00分から午後8時30分

場 所 商工会館 新館4階 役員会議室

出席者 合計14名

行政招聘者:相模原市企画政策課さがみはら都市みらい研究所 主幹(兼)所長 藤井 一洋 氏

8月度定例会 チェックリストテーマ2「経済と生活利便の調和」について

日 時 平成26年8月20日(水) 午後7時00分から午後8時30分

場 所 商工会館 新館4階 役員会議室

出席者 合計21名

オブザーバー:多摩大学経営情報学部 准教授 奥山 雅之 氏

招聘者:町田市役所経済観光部産業観光課 商工担当課長 尚 邦男 氏、

主任 平河内 麻紀 氏

町田市役所都市づくり部交通事業推進課 課長 野田 好章 氏、調整係長 鈴木 稔 氏、

推進係長 岩岡 哲男 氏

「参考都市視察研修会」

平成26年9月5日(金曜日)

9:00 集合 相模原商工会議所、相模原駅前

12:00～14:00 視察・昼食「ヤマハコミュニケーションプラザ」

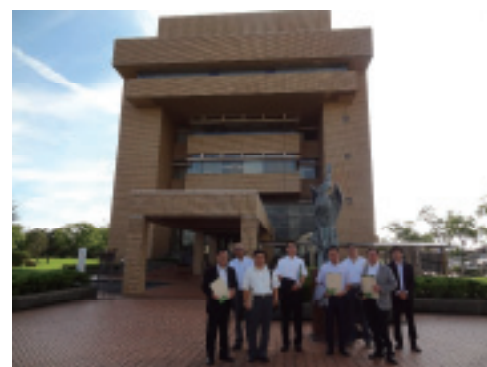
14:30～16:00 説明(袋井市役所)「ICTを活用したまちづくり」

9月6日(土曜日)

10:00～11:00 視察「法多山尊永寺」

11:30～13:30 視察・昼食「萬松山可睡齋」

参加者 合計10名



10月度定例会 チェックリストテーマ3「広域交流拠点都市の行方」について

日 時 平成26年10月8日(水) 午後5時45分から午後7時30分

場 所 商工会館 新館4階 役員会議室

出席者 合計26名(内、懇親会参加者16名)

ゲスト:多摩大学インターゼミ2014多摩学班:奥山雅之准教授、荻野博司客員教授、古西政樹(学部生)、  
小山明信(学部生)、宮崎大地(学部生)



11月度定例会 チェックリストテーマ4-1「環境サステナビリティ」について

日 時 平成26年11月12日(水) 午後7時00分から午後8時30分

場 所 商工会館 新館4階 役員会議室

出席者 合計16名

ゲスト:相模原市環境経済局環境共生部環境政策課 参事(兼)課長 内田雅美氏、担当課長 柿山清美氏  
さがみはら地球温暖化対策協議会 対策部会長 増田和美氏

12月度定例会 チェックリストテーマ5「防災支援都市」について

日 時 平成26年12月10日(水) 午後7時00分から午後8時45分

場 所 商工会館 新館4階 役員会議室

出席者 合計13名

招聘者:相模原市危機管理局緊急対策課 担当課長 遠山芳雄 氏

1月度「新年会」

日 時 平成27年1月 8日(木) 新年会 午後1時~3時

場 所 新年会:ちかなり(中央区星が丘3-14-8)※送迎バス12:40発

参加者 合計16名

2月度 視察研修会 次第

日時 平成27年2月20日(金)~21日(土)

場所 旧城山町エリア、桂川亭

「津久井エリア視察研修会in 城山」

13:00 本沢ダム(城山発電所) 視察

15:00 相模原IC 視察

16:00 宮ヶ瀬ダム 視察

18:00懇親会

参加者 合計11名

ゲスト:城山商工会 理事 有山 英次氏



3月度定例会 平成26年度事業のまとめ

日 時 平成27年3月11日(水) 午後7時00分から午後8時10分

場 所 商工会館 新館4階 役員会議室

出席者 合計9名



## 4. まとめ

最後に、今後我々が直面する社会、経済環境は、相模原の産業や生活へ大きく影響を与えることになるだろうことは疑う余地はないと思います。

都市産業研究会では、相模原の将来に対して、産業人の立場から市内外の社会環境である経済、生活、健康、文化、交通、安全などについて多角的な視野で提言し具体的なまちづくりの内容を示させていただきました。平成26年度は、相模原市の15年後を現時点から見据えたチェックリスト型の提言書2014年を発行し年度を通し相模原市役所の方々や多摩大学の方々、NPOの方々と広く意見交換を実施し、チェックリストを活用して参りました。

次年度以降の当会活動で、これらをテーマに提案、提言活動を行っていくことになると思います。

当会の作成した2014年度報告書を、当会の描く相模原市の将来像「グリーンコンパクトシティ」へのアプローチ方法に対して、そして相模原市がよりよい都市となる為の参考として活用していただければ幸いです。

2015年5月22日

都市産業研究会

平成26年度会長 中嶋 幸夫

自立都市を目指して（2008年）



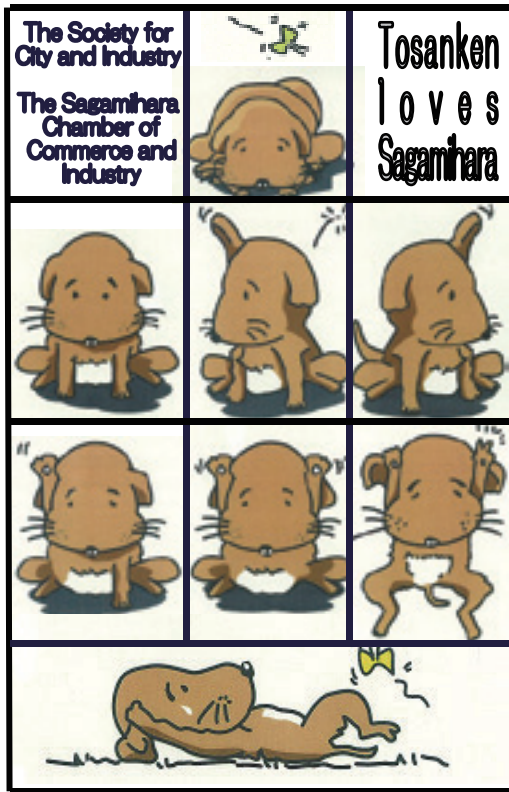
さがみはらの15年後の君へ  
(2010年)



私たちの考える相模原のさがみはらのまちづくり グリーンコンパクトシティ  
(2012年)







## 都市産業研究会について

都市産業研究会は、会員相互の交流と連携を図り、もって相模原市の産業基盤整備を含むまちづくりについて、広く調査・研究し、産業人の立場から相模原市の将来を創造、提案、支援を行う団体です。平成7年6月、新時代における地域経済社会のあるべき姿を追求し、その活動を強力に推進させるため、相模原商工会議所21世紀プラン（SSP21）が示した政策提言機構（団体）として設置されました。

当会は設立以来今日に至るまで産業人の立場から相模原市の将来のまちづくりについて調査・研究を行い、その成果として政策提言や報告書を公表してきました。

著 作：相模原商工会議所 都市産業研究会  
 発行日：2015.5.22  
 発行責任者：中嶋 幸夫

### 都市産業研究会（平成26年度） 会員

会 長	中嶋 幸夫	荒井 聖	武内 英雄
副会長	小野 弘	安藤 悦郎	所谷 茂
	井上 栄次	市川 英一	長崎 克央
	唐澤 章三	井上 誠司	新津 裕史
理 事	平栗 文夫	浦上 裕史	西野 清一
	白井 一郎	金子 政明	萩原 理介
	安西 登	小泉 計雄	原 正弘
	山中 仁	櫻井 正友	広川 正和
	桑島 克也	櫻内 國富	八木 大二郎
会 計	今井 俊男	柴田 正彦	八木 千露
監 事	中村 昌治	清水 紳一郎	矢田 正和
	原 保美	白井 憲二	渡邊 敦
		杉岡 芳樹	渡邊 知雅子
		高木 明	
		高木 幸夫	事務局
		高橋 純	下河原 英樹
			糠谷 佳文

2015年3月31日現在